

## 市長就任記者会見

令和6年12月9日

報道機関の皆様には、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。  
います。

また、平素から本市の情報発信に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、重ねてお礼を申し上げます。

この度の市長選挙におきまして、新見市長としての重責を担わせていただくことになりました「石田 實」でございます。  
どうぞよろしくお願いたします。

さて、私は、市民の皆様をはじめ、各方面からのご支援やご期待をいただき市長に就任いたしました。改めて責任の重さを痛感しており、身の引き締まる思いであります。

私は、昭和31年、新見市に生まれ、本市の成長とともに育ち、新見高等学校卒業後、家業の石田石油株式会社に就職し、民間人としての社会経験を積みました。その後、平成25年4月に新見市議会議員に初当選し、市政の発展のため、持てる力を尽くしてまいりました。

当時から本市の現状や将来を真剣に考え、何とか市民の皆様が安心安全に暮らせるまちにしたいとの強い思いを持って約11年間にわたり議員活動に励んでまいりましたが、活力ある市政を推進したいという強い思いで、この度の市長選挙に臨んだところであります。

今回、多くの市民の皆様とお話をさせていただく中で、本市の将来を心配

される言葉も数多くありました。

特に、「少子・高齢化、人口減少、新見高校や芸備線・姫新線の存続問題、新見駅のバリアフリー化、周産期・小児医療や救急医療の充実」などは多くの方からお聞きいたしましたし、このほかにも多くの問題や課題が山積しております。

どれ一つをとっても容易に解決できる問題はありませんが、私は、1期4年の任期のうち3年間で目鼻をつけたいとの思いで、「千日改革」をスローガンに「皆様の暮らしと安心を守るため」費用対効果に重点を置いた事務事業の見直し、真に必要な事業への積極的投資を着実に進めるとともに、国県との連携強化による予算の獲得にも努め、各種施策に有言実行の精神で取り組んでまいりたいと考えております。

また、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく、強い覚悟のもと、市民の皆様お一人おひとりが安心して暮らせる「新見市」を実現することが、市政を担う者としての責任であると考えており、本市の発展のため喫緊の課題には、勇気をもって決断し物事を進める「実行力」と柔軟かつスピーディーに動く「行動力」を持って各種施策に取り組んでまいる覚悟であります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。